

- 【試合方法】
- ① 試合時間は、試合開始から1時間20分を過ぎたら新しいイニングに入らず、均等回の得点で勝敗を決める。勝ち逃げ禁止ルールは適用しない。
(ただし決勝戦は20分延長した時間制限とする)
雨または日没の場合、4回終了にて成立。不成立の場合は再試合。
 - ② 試合は7回までとする。同点の場合はタイブレーク方式を行う。
タイブレーク方式は最大2イニングまでで、勝敗が決しない場合は抽選によって決定。
ただし決勝は勝敗が決するまで、タイブレーク方式を行う。
《タイブレーク方式》継続打順で無死満塁の状態で行う。走者は前回の最終打者を一塁に、二塁、三塁走者は順次前の打者とする。
 - ③ 4回以降7点差にてコールドゲームとする。
※決勝戦もコールドゲームを適用する
また、20点以上差が出た場合は、選手の健康管理を考慮してコールドゲームとする。
※全試合に適用
 - ④ 投手の投球回数は1日7イニングとする。ただし、タイブレーク方式には適用しない。
 - ⑤ 選手は1時間前に集合し、監督はメンバー表を速やかに提出のこと。
 - ⑥ 試合中は、バッター・ランナー・コーチャーボックスは必ずヘルメット着用のこと。
捕手は防護用ヘルメット、マスク（スロットガード付）、ファールカップを着用すること。
また、六義公園運動場において、A面・B面双方試合実施の際は、A面左翼手・B面右翼手もヘルメット着用、攻守交代時の外野手によるキャッチボール等守備練習を禁止する。
 - ⑦ 選手の背番号は0～99番までとし主将は10番とする。
監督は30番、コーチは28番と29番とし、それ以外は認めない。
 - ⑧ 試合上の抗議権は、監督と当事者の1名とする。
 - ⑨ ヘンチ内は各チームで登録してある監督・コーチ・責任者（6名）・選手に限る。
なお、指導者のユニフォーム着用は監督及びコーチの3名以内に限り、その他の責任者等はチームの帽子を着用する事。
 - ⑩ 試合中、選手の健康管理を考慮して担当審判員、または大会本部の判断で給水タイムをとる場合がある。この場合、給水に要する時間は試合時間に含めない。

【出場失格】 ① 開会式に無断で不参加の場合。

② チーム編成に不正行為があった場合。

③ 試合時間に遅れた場合。

【注意事項】 ① 開会式と閉会式当日は、自転車の乗り入れは禁止する。

② 駐車は連盟駐車場許可証を提示した車のみとし、六義公園運動場の公園側出入口、ならびに管理事務所側出入口付近での乗降を禁止とする。

③ ゴミ、空き缶等は各チームが責任をもって持ち帰ることとし、応援父母の皆様にも徹底すること。

④ グランド内、ならびに六義公園運動場の公園側出入口、管理事務所側出入口付近はすべて禁煙とする。

⑤ 試合以外で会場内でのバットの使用は禁止、素振りも事故防止のため禁止とする。

⑥ 会場内での練習は禁止。ただし次の試合のチームは可。

⑦ 試合後のグラウンド整備は、試合が終わった両チームが行うこと。 ※ライン引きは審判部が担当

⑧ 六義公園運動場において、9時以前の選手集合を禁止とする。

⑨ 攻守交代後の投球練習時において、控え選手が捕手を行う場合、ヘルメットとマスクを必ず着用する。

⑩ 第一試合開始前のシートノックは、各チーム5分以内に行うこと。
※シートノック時にノッカーの周囲にいる選手はヘルメットを着用すること
※第二試合以降は、原則として試合開始前のシートノックは行わない

⑪ 試合開始後の選手追加がある場合は、メンバー表に追加選手名を記載、その旨を審判員に報告・提出し承諾を得ること。

⑫ 各チーム応援旗はグラウンド外側へ掲示すること。

⑬ 来賓、連盟役員、審判部・審判当番以外の方の大会本部への不必要な立入を禁止する。

⑭ すべてのチームにおいて選手の追加登録は認めない。

⑮ 大会期間中、六義公園運動場における公園側出入口の利用は自転車の乗り入れを含め一切禁止とする。

平成31年

第39回文京区少年軟式野球 春季サヨナラ大会

【期日】

3月 3日(日)・ 9日(土)・10日(日)

3月17日(日)・21日(木)



☆主催／文京区少年軟式野球連盟

☆後援／文京区

東京駒込ライオンズクラブ
東京新聞・東京中日スポーツ
ナガセケンコー株式会社
株式会社シミズオクト